

けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。 「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する
情報をお知らせします～



蕾が開く前に収穫します。



県北地方は、東北有数のコギク産地です。



**有限会社 あづま果樹園(福島市)、蓬田さん夫妻(桑折町)
ミネロファーム(福島市)が「福島県農業賞」を受賞しました！**

平成30年9月7日(金)、福島市の杉妻会館において、「第59回福島県農業賞」の表彰式が行われました。

「福島県農業賞」は、本県の農業分野で最も権威のある賞のひとつです。今回、当事務所管内からは、農業経営改善部門で福島市の有限会社あづま果樹園と桑折町の蓬田正信さん・由美子さん夫妻が受賞され、福島市のミネロファーム(NPO 法人福島農業復興ネットワーク)が復興・創生特別賞を受賞されました。

あづま果樹園は地域の農地を守るために耕作放棄地を積極的に借り受けており、果樹の大規模経営のモデルとなっています。

蓬田さん夫妻は家族経営協定によるももを主体とした複合経営を展開し、食味と色つきを重視した果実を生産しています。

ミネロファームは原発事故で被災した浜通りの酪農家たちが、再開先の福島市で共同運営により質の高い生乳を生産し、耕畜連携にも力を入れています。

以上のような他の模範となる優れた取組がこうした取組みが受賞につながりました。受賞者の皆様の今後ますますの御活躍を御祈念申し上げます。(企画部)



有限会社 あづま果樹園



蓬田正信さん・由美子さん



ミネロファーム(NPO 法人福島農業復興ネットワーク)



福島地域酒米研究会が(有)仁井田本家で視察研修を実施しました！

平成30年8月31日(金)、福島地域酒米研究会主催による先進地視察研修が実施され、会員12名が郡山市田村町の「有限会社仁井田本家」で酒蔵見学やほ場での研修を行いました。

有限会社仁井田本家は、県内でも早くからファンづくり活動を実施している酒蔵で、震災以降毎年「また来たい蔵になろう」というコンセプトを掲げ、化学肥料や農薬を一切使わない酒造好適米6haを自然米として直営で栽培し、社員全員で管理しています。また、米づくり体験イベントの「田んぼのがっこう」の他、約2,000人が参加する春秋の「にいだの蔵感謝祭」や、毎月第4土曜日のスイーツデーなど、蔵に来てもらい、蔵のファンになってもらうためのイベントを数多く開催しています。

研修では、仁井田穂彦社長から会社のこだわりを説明していただき、当会の参加者からは「有機栽培を継続していくための取組」や「酒造好適米生産者との契約内容」等多くの質問が出て、活発な意見交換となりました。また、併せて小雨の中酒造好適米「亀の尾」の生産ほ場を見学しました。

参加者からは、「今後の酒造好適米の栽培の勉強になった」という声や「参加できなかった仲間にも学んだことを伝えたい」と意見が出されました。

当事務所としましては、会の活動が発展していくよう引き続き支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



酒造好適米「亀の尾」の栽培ほ場



(有)仁井田本家馬場常務による蔵の説明

福島地域酒米研究会が酒米稲刈りイベントを開催しました!

平成30年9月23日(日)、福島地域酒米研究会が福島地域における地産地消による特徴ある日本酒づくりと良質な酒造好適米生産による持続可能な農業の推進を目的として、酒米稲刈りイベントを開催しました。日本酒造りに興味のある消費者や関係機関、当研究会の会員など約50名が参加しました。

稲刈りは福島市松川町の水田3aで本県オリジナル酒造好適米品種「夢の香」を鎌を使っての手刈りで行われました。初めて稲刈りをする参加者や、子供連れでの参加者も見られ、参加者全員で協力しながら、一株、一株、丁寧に刈り取りが行われました。前日までの降雨により、水田に足を取られどろんこになる子供たちの歓声が響くなか、稲刈りは約1時間で無事終了しました。

参加者からは「鎌を使うのが初めてで少し怖かったが、慣れてくるとおもしろかった」、「疲れたが、農家のみなさんの苦勞が身にしみてわかった」、「この米からできるお酒が楽しみ」などの声が聞かれました。

稲刈り終了後は、福島市産「ひとめぼれ」のおにぎりや、県北地方の郷土料理である「ざくざく」が振る舞われました。農作業の後のご飯の味は格別だったようで、おかわりする参加者が多く見られました。また、当事務所担当者から、酒米から日本酒が造られるまでの工程や日本酒造りに関するクイズが出され、日本酒造りを学ぶ良い機会にもなりました。

福島地域酒米研究会では、今後、福島市産酒造好適米から造られた新酒お披露目会を予定しています。

当事務所としましては、会の活動が発展し、福島市産日本酒のファンが増えるよう引き続き支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



お母さんと刈り取りしたよ!



好天のもと、参加者全員で酒米刈り取りしました。

原木しいたけの「ほだ木コンクール」が開催されました！



平成30年9月6日(木)、二本松市岳温泉の光雲閣において、福島県原木しいたけ再生産をめざす会の「ほだ木コンクール」が開催されました。「ほだ木」とは、コナラなどの原木にきのこ(しいたけ)の種菌を植えたもので、手入れの仕方によって、発生するきのこの量が異なります。

主催の「めざす会」は、東日本大震災及び原発事故による被害の早期収束と、本県産の原木を使用したしいたけ生産の復活を目指して活動しています。

当日は、会員が手塩にかけたほだ木を持参し、種菌メーカーの指導員やきのこ振興センター事務局長により厳正な審査が行われ、以下のとおり入賞者が決定しました。入賞された皆様、おめでとうございます！！

最優秀賞 国分義徳さん(本宮市)

優秀賞 大橋茂美さん(伊達市)、牧野善治さん(伊達市)、菊地久光さん(新地町)

近年、菌床で栽培されたしいたけの生産が主流となっていますが、原木しいたけの味は折り紙付き！お店で原木しいたけを見つけたら、是非、味わってみてください！

(森林林業部)



ほだ化(菌の伸長状況)の確認



審査状況



原木しいたけの発生状況(参考)



最優秀賞 国分義徳氏

ふくしま県GAP認証書交付式を行いました！

平成30年9月7日(金)、当事務所伊達農業普及所において、ふくしま県GAP(FGAP)認証を取得した伊達郡桑折町の「はねだ桃園」に対する認証書交付式を行いました。

「はねだ桃園」は、平成29年度にモモのGLOBALG.A.P.認証を取得しています。今回はFGAPの追加認証制度を利用し、GLOBALG.A.P.の取組に加えて、果樹の区分では県内第1号となるFGAP認証を平成30年8月31日付けで取得されました。

また9月12日(水)には、はねだ桃園代表の羽根田幸将氏が桑折町の高橋宣博町長へFGAP認証の取得を報告し、高橋町長から「風評払拭の取組の先頭に立って貰いたい。」と激励の言葉がありました。

県北農林事務所は、今後とも関係機関・団体と連携し、農産物の安全や農業経営の合理化等に向け、GAP取得を強力に支援してまいります。

(伊達農業普及所)



認証書交付式



「GAPは安全の証として取り組んでいます。」と話す羽根田氏



桑折町長へFGAP認証取得を報告



フレッシュ農業ガイド講座を開催しました！

平成30年9月5日(水)、福島県立安達東高等学校2学年を対象とした「フレッシュ農業ガイド講座」を安達農業普及所主催で開催しました。

本講座は、進路決定時期を控えている高校生に対し、先進農家や若い農業者との交流を通じ、農業に対する意識啓発を図るもので、今回は管内の畜産農家の佐原洋一郎氏の牛舎と農業青年クラブ会員の伊藤広明氏のほ場を見学し、農業経営の取組について説明を受けました。

佐原氏は、酪農・水稻の複合経営に取り組み、また飼料用米・牧草を自給し、循環型農業を実践しています。自身の就農のきっかけや農業の魅力、新しい担い手に求めることについて説明し、高校生は熱心に聞いていました。牛舎では、8月末に生まれたばかりの子牛に直接触れ合うことができ、高校生にとって貴重な体験だったと思います。

伊藤氏は、水稻・野菜(アスパラガス)の栽培と、農家民宿を経営しています。講座では、アスパラガスのハウスを見学し、栽培方法・品種についての説明を聞きました。安達東高校ではアスパラガスを栽培していないため、高校生は初めて見るアスパラガスの施設栽培に興味津々な様子でした。

講座終了後、参加した安達東高校生24名に対してアンケート調査を実施しました。「講座を通して農業に対する興味が深まったか」という質問に対しては、約8割の生徒が「深まった」「少し深まった」と回答しました。また、「畜産経営に対する興味について」「複合経営に対する興味について」は約9割の生徒が「とても興味を持った」「少し興味を持った」と回答しており、農業経営に対する関心の高さがうかがえました。

安達農業普及所では今後も、担い手確保・農業青年クラブ活動を支援し、安達地方の農業振興を図っていきます。

(安達農業普及所)



佐原氏の牛舎を見学する県立安達東高の生徒 中央は子牛



伊藤氏のアスパラ施設栽培見学の様子

もも・りんご栽培基礎セミナーを開催中です！

「もも・りんご栽培基礎セミナー」は、福島市で新たに農業に取り組む新規就農者や若手女性農業者を対象として、果樹の基礎知識や栽培管理を中心に学習する機会を設け、果樹経営者の定着と更なる技術向上を図ることを目的として、福島市、JAふくしま未来及び当事務所で構成する「福島地域新規就農者等果樹栽培スキルアップ連携会議」の主催で年間5回開催することとしています。

第1回(7月4日)と第3回(9月4日)の座学では「もも・りんごの栽培管理、病虫害防除について」「ももの品種特性と新植・改植について」「りんごの収穫前管理について」等を当事務所果樹担当普及員

が講義しました。また、第2回(7月12日)は「もも・りんごの優良園地での栽培管理」として、ももは飯坂町の縦山和一郎氏から、りんごは宮代地区の佐藤宏一氏から現地ほ場で栽培管理の指導を受けました。

受講者からは、毎回、多くの質問の手が上がるなど積極的に技術習得をしようとする姿勢が見られ、また、「座学も現地指導も分かりやすく非常に参考になる」との意見をいただいております。

10月には第4回として、6次化や複合経営を展開している農業者への先進地研修など、経営面について学ぶセミナーを開催予定であり、当事務所としても、受講者からの希望内容を反映させるなど受講者ファーストでセミナーを開催し、経営感覚に優れた新たな果樹経営者の育成が図れるよう継続的な支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



縦山氏によるももの栽培管理指導



佐藤氏によるりんご栽培管理指導

第6回「県北産『親子で作るまごころ食育お弁当』コンクール」が開催されました！

平成30年9月8日(土)、福島市のパルセいいざかにおいて、公益社団法人福島県北食品衛生協会の主催による第6回「県北産『親子で作るまごころ食育お弁当』コンクール」二次審査及び表彰式が開催されました。

本コンクールは、お弁当作りを通して親子の絆を深めるとともに、地産地消並びに食育の普及を図ることを目的に平成25年から開催されており、当事務所も後援しています。

今年度は県北地区の小学5・6年生親子から191点の応募があり、当日は一次審査の書類審査を通過した33点について審査が行われました。審査会場に並べられたお弁当は、地元の食材を彩り豊かに使っており、栄養バランスにも配慮された、甲乙つけがたいものばかりでした。

審査の結果、^{あさのひな}浅野媛奈さん(福島市立吉井田小学校)のお弁当が、栄養バランスや彩り、子供らしい盛りつけが評価され最優秀賞に選ばれたほか、優秀賞2点、特別賞3点が受賞となりました。

表彰式に先立って、福島学院大学短期大学部食物栄養学科の佐藤る美子先生から食育の講話が行われ、参加者はバランスのとれた食事をとることなど食の大切さを感じていたようでした。

親子でお弁当を作り、コンクールに参加することで、地元の農産物のおいしさや食事の大切さを改めて実感する機会となりました。

(企画部)



最優秀賞に選ばれた浅野さん(前列右から4人目)ら受賞者



浅野さんの「夏のはなび弁当」

「第13回農業総合センターまつり」が開催されました！

平成30年9月7日(金)～8日(土)に福島県農業総合センター(郡山市)、及び9月14日(金)に同センター果樹研究所(福島市)において「第13回農業総合センターまつり」が開催されました。

農業総合センターでは農業技術相談やほ場案内バスツアーが行われたほか、地産地消直売コーナーやお食事コーナーには、県北地方の複数の事業者も出店し、まつりに花を添えました。

果樹研究所では、りんごやぶどうなどのほ場が公開され、来場者は普段見ることのできない様々な果樹の栽培の様子を見たり、職員に栽培について質問したりしていました。果樹研究所で収穫した、なしやぶどうも販売され、大盛況でした。

(農業振興普及部・企画部)



農機具展示コーナー(農業総合センター)



地産地消直売コーナー(農業総合センター)



なしを試食する来場者(果樹研究所)



ぶどうのほ場を案内する職員(果樹研究所)

Hot フルーツ！プロジェクト“桃”がアキフェスに出店しました！

平成30年9月16日(日)にJR福島駅前で開催されたアキフェスに、9月22日(土)から発売されるHot フルーツ！“桃”のメニューの内、2店舗がイベントとして出店しました。

当日はJR福島駅東口駅前広場にて、「ももがある」さんの「ももふるホットパイ」と、「農家カフェ 森のガーデン」さんの「ももカレー」を販売しました。

「ももふるホットパイ」は「ももがある」さんの看板商品である冷凍桃の「ももふる」(詳しくは福島県公式クックパッド「はら食っち～な ふくしま」<https://fukushima.cookpad-blog.jp/articles/371695> を御覧ください。)とチーズをあわせた、見た目も華やかなパイです。

「ももカレー」はまるせい果樹園さんの農園で取れたおいしい桃をふんだんにルーに混ぜて仕込み、仕上げに「桃のワイン煮」を乗せたカレーで、今回はお試しサイズを特別価格で味わえました。

「ももふるホットパイも、ももカレーもとてもおいしい！」と大変好評で、両方とも予定していた数量は、終了時間を待たずに完売となりました。

22日(土)から全10商品が発売となりましたので、ぜひお店に足を運んでみてください！



■ももがある www.momogaaru.co.jp

■農家カフェ 森のガーデン <https://www.facebook.com/MORIGARFUKUSHIMA/>

(企画部)



開会式の様子



Hot フルーツ！をPRするキビタン



グッデイマーケットのキッチンカーをお借りました。



「とってもおいしいです^^」

Hot フルーツ！プロジェクト“桃”の販売が始まりました！

前頁のイベントでも大好評だった Hot フルーツ！プロジェクト“桃”の販売が平成 30 年9月 22 日(土)から始まりました！

当事務所からも歩いて行ける、Melon de melon 福島大町店にお邪魔して、店長の三浦さんにお話を伺ってきました。Melon de melon 大町店はテイクアウトのメロンパン専門店です、いつもお店の前にはお客様の人だかりができる人気店です。

普段は店単位では商品開発をしないとのことでしたが、今回は本部の了解を得て「福島県産桃とカスタードのデニッシュ」を完成させていただきました。

焼きたてを購入したい方は、9時 30 分頃に来店するのがオススメ！1 日限定 20 個の販売になります。初日は午前中に売り切れてしまったそうですので、ぜひお早めにご来店ください。また、Melon de melon 鎌田店でも販売していますので、ぜひお立ち寄りください。



■Melon de melon www.melon-de-melon.com

(企画部)



Melon de melon 福島大町店



お店で手作り



焼き上がりました♪



おいしいデニッシュいかがですか？



Hot フルーツ！プロジェクト“桃”

販売期間 平成 30 年 9 月 22 日 (土) ~ 10 月 31 日 (水)

販売店舗など詳しくは・・・

www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/hotfruits.html

Hot フルーツ! プロジェクト参加店

マザーヤマキ

伊達市梁川町字中町30-2

☎ 024-577-6626



☆Hot 桃パイ☆

サイトウ洋食店

福島市栄町9-5 栄町清水ビル 2階

☎ 024-521-2342



☆桃と自家製リコッタチーズのピザ☆

ももがある

福島市田沢字木曾内前6-8

☎ 024-547-3888



☆ももふるホットパイ☆



イブラフェリーチェ

福島市置賜町8-8 パセナカミッセ 2階

☎ 024-523-5510

☆エゴマ豚肩ロースと白桃のタリアータ☆(左)

☆白桃のサヴァイオーネグラタン☆(右)

道の駅 国見あつかしの郷

伊達郡国見町藤田字日渡二18-1

☎ 024-585-2132



☆桃ピザ☆

Melon de melon

福島市大町8-20 プリティ大町ビル 1階

☎ 024-503-9161



☆福島県産桃とカスタードのデニッシュ☆

on café (オンカフェ)

福島市飯坂町字湯沢26

☎ 024-542-3159



☆ももと野菜のキッシュ☆



農家カフェ 森のガーデン

福島市飯坂町平野森前27-3

☎ 024-541-4465

☆ももカレー☆(左)

☆桃ピザ☆(右)

この旗が
“目印”
ぜひ、食べに
行ってみてね!

第2回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン開催予告！

今年も福島市公設地方卸売市場の「わくわく市場まつり」にあわせて、第2回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催します。

当日は、おいしい福島県産のりんごや、海産物の試食、6次化商品の販売や素敵なプレゼントを準備して皆様のお越しをお待ちしております。ぜひ御家族でお越しください！

■日時

平成30年10月28日(日)

9:00~13:00

■場所

福島市公設地方卸売市場
(住所:福島市北矢野目樋越1)

■問い合わせ先

県北農林事務所 企画部
(電話:024-521-2596) (企画部)

第2回 **おいしいふくしま いただきます!**
キャンペーン in わくわく市場まつり

県産農林水産物のおいしさや安全性を再認識していただき、風評払拭と地産地消を推進するため、福島市公設地方卸売市場で開催する『わくわく市場まつり』の会場で県産農林水産物の消費拡大キャンペーンを実施します!

日時: 平成30年10月28日(日) 9:00~13:00
会場: 福島市公設地方卸売市場 (福島市北矢野目樋越1)

おいしい福島県産農林水産物の試食をご用意してお待ちしています。

アンケートに御協力いただいた **先着200名**様に
福島県産オリジナル米 **天のつぶ** と **エコバック** をプレゼントします。

福島県の農林水産物は、生産者のおいしさへの追求と安全なものづくりへの工夫が詰まった逸品。ぜひ、お買い求めください!

旬の県産農林水産物の試食のほか、ゲームに正解すれば景品がもらえるよ!みんな来てね!!

主催・お問い合わせ
福島県北農林事務所企画部 電話 024-521-2596
みんなで福島県の農産物応援しよう!! 一だめよう福島の農林水産物

注意!!

「野生きのこ」は出荷が制限されています!

野生きのこの採取シーズンを迎えていますが、県内では中通りと浜通りの全部、会津地方の一部で採取された「野生きのこ」は、放射性物質の影響により出荷が制限されています。

このため、自主検査で「基準値(100Bq/kg)以下」であったとしても出荷・販売はもちろん知人等への譲渡は行わないでください。また、飲食店や宿泊施設等での提供や加工用原材料としても使用しないよう協力をお願いします。

なお、出荷制限がされていない、湯川村、金山町、南会津町、檜枝岐村の4町村で採取したきのこを販売する際は、県のモニタリング検査の実施が済んでいることを確認してから出荷してください。

また、「栽培きのこ」にあつては産出地によっては出荷が制限されている品目がありますので、最新の情報を福島県ホームページなどで確認いただくか、当事務所にお問い合わせください。

■福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報URL <https://www.new-fukushima.jp/>

福島県では、各地方の森林組合と連携して山菜や野生きのこの出荷制限解除にむけた調査事業を進めています。検体の提供に御協力をお願いします。

■問い合わせ先

福島県県北農林事務所 森林林業部林業課
電話 024-521-2632 FAX 024-521-2851



(森林林業部)

けんぼくの6次化の取組の紹介 有限会社 ニューキムラヤ
「栗本陣、あんぽ柿本陣！」



ニューキムラヤは福島を代表する銘菓「栗本陣」を柱に、福島で採れる野菜、果物などを使い、JAふくしま未来などとの農商工連携で、たくさんの6次化商品を研究開発してきました。「あんぽ柿本陣」は大丸百貨店のカタログ販売で扱われ、コープこうべ、コープきんきに一度に 10,000 個を出荷しております。

これからの季節にぴったりの「栗本陣」や「あんぽ柿本陣」など、たくさんの商品をそろえてお待ちしております！お土産や贈答用にもどうぞ！



うつくしまゼリー（白桃）



栗本陣



あんぽ柿本陣

●取扱店舗

福島市内直営店、日本橋ふくしま館 MIDETTE、コラッセふくしま1階「福島観光物産館」、イトーヨーカドー福島店、県北地域のヨークベニマル各店、いちい各店、福島市内生協各店 など

●事業者データ

有限会社 ニューキムラヤ 〒960-8054 福島市三河北町3-16

☎ 024-536-1028 FAX 024-536-1029

E-mail n.kimuraya@peach.plala.or.jp ホームページ <http://www.newkimuraya.jp>

編集・発行 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

